

令和6年度（2024年度）
デジタル田園都市国家構想交付金事業
（地方創生推進タイプ、地方創生拠点
整備タイプ）及び企業版ふるさと納税
寄附充当事業の効果検証

令和6年（2024年）8月

熊 本 県

デジタル田園都市国家構想交付金の概要

- デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、「デジタル田園都市国家構想交付金」により、各地方公共団体の意欲的な取組を支援。

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル実装タイプ

- デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援。

書かない窓口



地域アプリ



遠隔医療



地方創生拠点整備タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。

道の駅に隣接した観光拠点



子育て支援施設



スタートアップ支援拠点



地方創生推進タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。
- ・ 地方版総合戦略に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的な取組を支援（最長5年間）
 - ・ 東京圏からのUターン促進及び地方の担い手不足対策
 - ・ 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・污水处理施設・港）の一体的な整備

地域産業構造転換インフラ整備推進タイプ

- 産業構造転換の加速化に資する半導体等の大規模な生産拠点整備について、関連インフラの整備への機動的かつ追加的な支援を創設。

大規模生産拠点
整備プロジェクト

選定

プロジェクト
選定会議

デジタル田園都市国家構想交付金の推移

- R4補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設。
- **R6当初：1,000億円／R5補正：735億円**（R5当初：1,000億円／R4補正：800億円）。

当初予算の推移



補正予算の推移



当初+補正

1,900億 1,600億 1,600億 1,600億 1,600億 1,660億 1,800億

プロジェクト一覧（令和5年度実施分）

地方創生推進タイプ

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある <事業費ベース>

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	実績額(千円)	繰越額(千円)
1	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト	人の流れ	②	112,613	
2	集え未来の担い手！技能継承“SMART”推進プロジェクト	しごと	①	48,506	
3	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト	しごと	③	33,649	
4	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業	移住・起業・就業型		139,947	
5	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	しごと	③	152,186	
6	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト	しごと	①	42,002	1,905
7	若者の雇用促進による熊本への人の流れの創出プロジェクト	人の流れ	②	27,885	
8	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト	しごと	③	72,989	
9	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト	しごと	①	111,110	
10	未来へつなげるくまもと農業の人財確保・育成プロジェクト	人の流れ	②	101,406	
11	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト	まちづくり	②	132,336	
12	くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト	しごと	③	54,587	
13	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	しごと	①	69,083	8,778
14	地域の農林水産業を元気にくまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	しごと	①	184,048	
15	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	しごと	②	173,357	
16	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	しごと	①	111,697	
17	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	しごと	③	123,107	
18	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	しごと	③	68,662	
19	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	人の流れ	②	133,479	
20	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト	しごと	③	93,135	
21	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト	しごと	②	116,617	
22	スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	まちづくり	②	60,999	
23	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト	しごと	①	121,466	
24	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト	しごと	②	65,132	
25	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト	人の流れ	②	118,593	
26	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル 人材事業型		53,348	
合計				2,521,939	10,683

地方創生推進タイプ

○プロジェクト分類

<事業費ベース>

大分類	小分類	プロジェクト数	実績額 (千円)	繰越額 (千円)
まちづくり	② (①を除く)コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、連携中枢都市等のまちづくり分野	2	193,335	0
地方への人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	5	493,976	0
しごと創生	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	7	687,912	10,683
	② 観光振興(DMO)等の観光分野	3	355,106	0
	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	7	598,315	0
移住・起業・就業型	—	1	139,947	0
プロフェッショナル人材事業型	—	1	53,348	0
合計		26	2,521,939	10,683

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

○KPI（重要業績評価指標）の達成状況

<令和5年度におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
26	88	57	6	4	7	14

<上記のうち、令和5年度で終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
8	26	18	2	1	4	1

プロジェクト一覧（令和4年度繰越分）

地方創生推進タイプ

<事業費ベース>

NO.	プロジェクト名	大分類	小分類	R5実績額(千円)
1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト	人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	180,000
2	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト	しごと	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	10,470
3	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	しごと	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	12,870
4	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト	しごと	② 観光振興(DMO)等の観光分野	15,126
5	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト	しごと	① 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野	330
6	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト	しごと	③ (①、②を除く)ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野	33,068
合計				251,864

プロジェクト一覧（H30年度補正～R5年度分）

地方創生拠点整備タイプ[○]
（地方創生拠点整備交付金含）

<事業費ベース>

NO.	プロジェクト名	予算区分	大分類	小分類	実績額 (千円)
1	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト	H30年度補正	人の流れ	② 移住促進・地方創生人材の確保・育成等の人材分野	243,723
2	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト	R3年度補正	しごと	② 観光振興(DMO)等の観光分野	916,796
合計					1,160,519

○K P I（重要業績評価指標）の達成状況

<令和5年度におけるKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
2	6	3	0	1	2	0

<上記のうち、令和5年度でKPI設定期間が終了したプロジェクトの事業期間全体のKPIの達成状況>

プロジェクト数	KPI総数	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成	③目標値の5割以上を達成	④目標値の達成は5割未満	⑤実績値集計中
1	3	1	2	0	0	0

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への**経済的な見返りは禁止**
- **寄附額は事業費の範囲内**とすることが必要
 - ※ 以下の地方公共団体は対象外。
 - ①不交付団体である東京都
 - ②不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村
 - ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例) 1,000万円寄附すると、**最大約900万円**の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

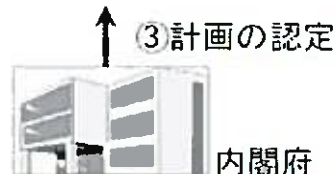
活用の流れ

①地方公共団体が
地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を
基に、地方公共団体が
地域再生計画を作成

地域再生計画



④寄附

企業



⑤税額控除

企業が所在する自治体
(法人住民税・法人事業税)



国
(法人税)

◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 46道府県1,598市町村(令和6年4月1日時点)

令和5年度寄附受入実績（分野ごと）

企業版ふるさと納税

NO.	寄附対象分野	件数	寄附金額(千円)
1	熊本地震からの復旧・復興	5	24,718
2	令和2年7月豪雨からの復旧・復興	5	21,210
3	プロスポーツ支援	2	20,000
4	健康づくり県民運動推進事業	1	20,000
5	地方創生推進プロジェクト	12	8,100
6	地方創生全般	15	13,963
7	こどもへの支援	26	82,000
8	熊本県の地球温暖化対策	1	9,073
9	フードバリューチェーン最適化推進の取組	1	6,772
10	地域の雇用創出	7	3,500
11	カーボンニュートラル	1	1,000
12	世界文化遺産登録推進事業	2	1,170
13	阿蘇草原再生の取組み	6	6,639
14	交通安全事業	1	200
15	動物愛護	1	200
16	熊本の発展の加速化と魅力の向上に資する事業	1	100
合計		87	218,645

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

寄附充当事業一覧（令和5年度寄附受入分）

企業版ふるさと納税

NO.	事業名	プロジェクト名 (デジタル田園都市国家構想交付金)	分野	充当額 (千円)
1	阿蘇草原再生事業	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト	阿蘇草原再生	2,639
2	持続可能な草原維持システム構築推進事業			4,000
3	世界文化遺産登録推進事業 (阿蘇世界文化遺産登録推進事業)		熊本地震 世界文化遺産登録推進事業	13,888
4	地域未来モデル事業 (フードバレー地域農産物活用拠点強化事業)	地域の農林水産業を元気に！くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト	豪雨災害	29,773
5	阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト	熊本地震	13,000
6	テレワーク推進体制強化事業	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト	地域の雇用創出	2,800
7	県立高校魅力化きらめきプラン		地方創生推進プロジェクト	1,500
8	県産あさり流通推進事業	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト	地方創生推進プロジェクト	2,000
9	教育旅行誘致推進事業	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト	豪雨災害	1,000
10	台湾インバウンド誘客強化事業			1,000
11	熊本県半導体人材育成会議等活動事業	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト	地方創生推進プロジェクト	1,600
12	県立高校半導体関連人材育成事業			5,100

寄附充当事業一覧（令和5年度寄附受入分）

企業版ふるさと納税

NO.	事業名	備考	分野	充当額 (千円)
13	こども図書館事業		こどもへの支援	8,400
14	動物愛護推進事業		動物愛護	200
15	放課後児童クラブ利用サポート事業		こどもへの支援	300
16	放課後児童クラブ施設整備事業		こどもへの支援	500
17	ひとり親家庭等医療費助成事業		こどもへの支援	800
18	子ども食堂等応援事業		こどもへの支援	800
19	地域療育総合推進事業		こどもへの支援	800
20	交通安全特別啓発事業		交通安全関連事業	200
21	高等学校産業教育設備整備費		こどもへの支援	1,000
22	熊本県総合エネルギー計画推進事業		カーボンニュートラル	1,000
23	2050くまもとゼロカーボン推進事業		地球温暖化対策	69
24	環境立県推進課職員給	※企業版ふるさと納税（人材派遣型）活用分	地球温暖化対策	9,004
25	流通アグリビジネス課職員給	※企業版ふるさと納税（人材派遣型）活用分	フードバリューチェーン最適化 推進の取り組み	6,772
小計				108,145
■基金積立				
1	高等学校産業教育設備整備費		こどもへの支援	70,000
2	健康づくり県民運動推進事業		健康づくり県民運動推進事業	20,000
3	プロスポーツによる地域活性化事業		プロスポーツ支援	20,000
4	熊本県農林水産業のブランド力・生産力・流通 力向上の取り組み		地方創生推進プロジェクト	500
合計				218,645

※千円未満四捨五入のため、内訳と計が一致しない場合がある

寄附充当事業一覧（令和４年度寄附受入分）※基金取崩し

基金名	取崩し額(千円)
ふるさとくまもと応援寄附基金	18,600

NO.	事業名	備考	分野	充当額 (千円)
1	くまもと県産農産物ネットワーク構築事業		食の供給機能強化	250
2	企業の農業参入トータルサポート事業		食の供給機能強化	350
3	フロススポーツによる地域活性化事業		フロススポーツ支援	10,000
4	こども図書館事業		地方創生全般	8,000
合計				18,600

デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプ）等
（令和5年度実施分）

推進 1

プロジェクト名(事業期間)	「くまもと暮らし」スタートアップ応援プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地方暮らしに興味のある層への情報発信や熊本への移住を希望する県外居住者に対する受入体制の整備・情報発信の強化など移住希望者のステージに応じた取組みにより、移住定住を促進するとともに地域活動の担い手や人材の確保を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業	企画振興部	112,613	56,306	本県への移住定住を促進するため、移住情報誌への連載や移住相談会(オンライン開催)の開催など、移住希望者のステージに応じた取組みを体系的に実施し、移住相談窓口を通じて173人の移住を実現。
			112,613	56,306	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
移住者数 6人(H29)⇒251人(R5)	企画振興部	人	6	15	29	30	56	60	58	65	148	75	173	245	464	①目標値を達成	①目標値を達成
地域おこし協力隊の定住率 54.2%(H29.3)⇒75.0%(R5)	企画振興部	%	54.2	1.8	19.8	4.0	13.4	5.0	19.5	5.0	17.6	5.0	14.8	20.8	85.1	①目標値を達成	①目標値を達成
東京・大阪相談窓口における移住相談件数 1,250件(H29)⇒8,850件(R5)	企画振興部	件	1,250	1,350	1,911	1,450	1,349	1,600	2,426	1,600	2,442	1,600	2,190	7,600	10,318	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 2

プロジェクト名(事業期間)	集え未来の担い手！技能継承”SMART”推進プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	農業、水産業の一次産業、建設業や製造業を始めとした技能職等を若者に魅力ある産業として定着させ、かつ実践的な技術・技能を若いうちから学ぶなど、即戦力としての技術・技能を身に着け、継承していく仕組みを構築する。さらには、現にその産業を支えている担い手の技術力・生産力の向上を図り、人口減少社会における県内主要産業の稼ぐ力を高める。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	みらいの技能士育成事業	商工労働部	4,042	2,021	技能士の魅力を伝え、技能職への入職を意識してもらうため、高校3校で技能体験セミナーを実施。また、技能士のスキルアップのため、技能検定の事前講習会を実施した技能団体(3団体)及び県外技能競技大会出場選手の強化育成を実施した技能団体(2団体)を支援。
2	スマート農業導入加速化事業	農林水産部	19,159	9,579	研究機関において、イチゴの環境制御による省力・安定生産技術の開発等を実施。また、土地利用型農業において、自動操舵技術を活用した省力体系モデルを構築するため、現地実証を実施中。併せて、有効性が実証されたドローン防除において、防除を請け負う担い手として、ドローン防除組織(11組織)の人材を育成。
3	スマート養殖業技術開発事業	農林水産部	22,404	11,202	①シマアジ向け多機能自動給餌機の開発のため、県内2業者に設置した20基の改良開発を実施。。 ②赤潮検知システムの開発のため、クロロフィルaを計測するセンサ6台を2漁場に設置し、養殖漁場における赤潮増殖傾向感知の判定確認を実施。 ③音AI活性状態センシング機能の開発のため、県内2業者に検証用装置を計4台設置し、給餌活性の有無の判定確認を実施。
4	スマート農業実践による就農促進事業	農林水産部	2,746	1,373	① 農大と農高が連携し、シクラメン栽培環境に係る現在・過去のデータ比較(見える化)、栽培施設で高温・強日射が発生した場合の自動通知を継続運用。新たに品質維持のために葉数カウント「AI(人工知能)」を運用開始。 ② ①により夏場の気温上昇が開花遅延や葉数不足による品質低下の原因であることを究明し農大・農高で情報共有。 ③ 農大と11農高との遠隔一斉授業を4回開催し事例紹介等によるスマート農業の理解促進を図った。農大卒業生が栽培環境見える化に取り組む法人に雇用就農し活躍している。
5	BOD監視システム普及・定着実証事業	農林水産部	156	78	スマートな畜産排水処理導入のための環境整備として、IoT技術を活用した運転制御を行うBOD監視システムの導入を支援。県内への普及・定着を推進するため、データを収集。
			48,506	24,253	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
スマート農業・養殖業導入に係る労働時間の削減率 0%(H30)⇒28%(R5)	農林水産部	%	0	5.0	6.0	5.0	11.0	6.0	3.0	6.0	5.6	6.0	10.1	28.0	36	①目標値を達成	①目標値を達成
農業大学校卒業者の就農率 56%(H30) → 65%(R5)	農林水産部	%	56.0	1.0	2.4	2.0	13.8	2.0	-4.2	2.0	-10.6	2.0	-3.4	9.0	-2	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
高校生の技能検定受検者数 1,242人(H30)⇒1,553人(R5)	商工労働部	人	1,242	63	282	62	-411	62	316	62	-347	62	22	311	-138	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満

推進 3

プロジェクト名(事業期間)	くまもと発！自然共生型産業成長促進プロジェクト(令和元年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	シーズの発掘から育成まで一貫してベンチャーを支援するシステムにより、起業をめざす者が起業しやすい環境、新たなビジネスが絶え間なく生まれ育ちやすい環境を整備し、熊本の活力創造につなげる。また、資金調達が困難な創業初期のベンチャーが必要とする研究開発等を実施しやすい環境を整備し、成長を加速化する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	次世代ベンチャー創出支援事業	商工労働部	33,649	16,824	新たな成長産業の創出につながる起業家やベンチャー等の取組みを後押しするため、ベンチャーコンテストを実施し、25社・チームを発掘。また、創業初期のベンチャーが実施する研究開発、ベンチャーが行うインターンシップ受入れ等を支援。
			33,649	16,824	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和元年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じたベンチャーへの就業者数 17人(H30)⇒60人(R5)	商工労働部	人	17	5	29	7	12	9	7	10	16	12	13	43	77	①目標値を達成	①目標値を達成
事業を通じたベンチャーの資金調達額 80,000千円(H30)⇒680,000千円(R1～R5の総額)	商工労働部	千円	80,000	100,000	499,000	100,000	539,000	150,000	330,000	150,000	730,000	180,000	167,000	680,000	2,265,000	①目標値を達成	①目標値を達成
事業を通じた次世代ベンチャーコンテスト延べエントリー件数 88件(H30)⇒188件(R5)	商工労働部	件	88	15	32	18	32	21	24	22	26	24	25	100	139	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 4

プロジェクト名(事業期間)	くまもと版地方創生移住支援事業／くまもと版地方創生起業支援事業(令和元年度～令和6年度)
プロジェクト概要	県内企業と就職希望者とのマッチングを図るマッチングサイトを整備し、県内企業に就職し、または社会的事業等の分野において起業した者に対して移住に必要な経費を支給するとともに、社会的事業等の分野において起業したものに対して起業に必要な経費を支給することで、地域における人材確保を確実なものとし、地域の活力の維持、発展につなげていく。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	移住定住促進事業(移住支援)	企画振興部	127,011	63,505	東京圏在住者の移住を促進するため、本県のマッチングサイトに掲載している県内企業求人への就業者等92名に対して、移住に必要な経費を支給。
2	移住定住促進事業(起業支援)	企画振興部	9,937	4,968	地域コミュニティを維持し、地域住民や移住者の自立した地域づくりを推進するため、地域課題の解決に資することを目的として新たに起業した3名に対し、起業に必要な経費の一部を補助。また、地域の課題解決に効果的な起業を促進するため、県が業務の一部を委託する外部団体と連携し、起業家への伴走支援を実施。
3	「くまもとではたらく」若者の県内定着促進事業	商工労働部	3,000	1,500	熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン就職希望者や人材を確保したい県内事業者に対する相談対応、情報提供及びマッチング支援を実施し、158人(うち学生:30人)のUIJターン就職を実現。
			139,947	69,974	

KPI	指標担当 部局	単位	事業 開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和元年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和元年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
本移住支援事業に基づく移住就業者数 0人(H30)⇒913人(R6)	企画振興部	人	0	73	0	168	8	168	28	168	56	168	92	168		913		③目標値の5割以上を達成	
本移住支援事業に基づく移住起業家数 0人(H30)⇒12人(R6)	企画振興部	人	0	2	0	2	2	2	0	2	1	2	0	2		12		④目標値の達成は5割未満	
本起業支援事業に基づく起業家数 0人(H30)⇒18人(R6)	企画振興部	人	0	3	3	3	4	3	4	3	4	3	3	3		18		①目標値を達成	
マッチングサイトに新たに掲載された求人数 0件(H30)⇒11,900件(R6)	商工労働部	件	0	900	269	2,200	1,016	2,200	1,588	2,200	2,261	2,200	2,341	2,200		11,900		①目標値を達成	
本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数 150世帯(R6)	企画振興部	世帯	0	-	-	-	-	-	-	50	8	50	38	50		150		②目標値の7割以上を達成	

推進 5

プロジェクト名(事業期間)	新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	従来の取組みとは異なる、新たな視点により、交流人口の拡大や健康づくりの取組み等をモデル的に実施するとともに、持続可能な地域の実現に向けた基盤づくりを行う。地域自らが主体となって継続的に取組みを行う体制を整え、地域の取組みが自走化することで、地方創生の実現につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	SDGs推進事業	企画振興部	9,629	4,814	SDGsを原動力とした地方創生の実現を後押しするため、SDGsの普及啓発に意欲的な企業や団体向けに、SDGsに精通した企業経営者を講師とした基調講演等を実施。
2	地域づくりチャレンジ推進事業 (地域課題解決プロデューサー人材活用事業)	企画振興部	24,227	12,114	人材育成や資金調達のアドバイス等を総合的に行うプロデューサー人材を派遣し、地域課題解決に取り組む地域団体(4団体)の活動を支援。また、併せて地域づくり活動に関する動画を作成。
3	健康長寿推進事業	健康福祉部	14,104	7,052	健康寿命を伸ばすための6つのアクション(運動、食事、禁煙、健診、口腔ケア、休養)の推進に賛同し、健康づくり活動を実践する企業・団体を「くまもとスマートライフプロジェクト 応援団」として登録。優良事例の紹介やウォーキングイベント等を実施し、企業等の活動を支援。
4	スポーツツーリズム活性化事業	観光戦略部	11,219	5,609	スポーツコミッションによるマラソンイベントやセミナー開催等を行い、スポーツによる誘客促進を実施。
5	「マンガ県くまもと」構想推進事業	観光戦略部	33,353	16,676	本県ゆかりのマンガ・アニメ等の豊富なコンテンツを活用したプロモーションや情報発信により、本県の国内外からの認知度向上や誘客促進、さらには被災地支援など、県全体の活性化を推進。
6	南阿蘇鉄道沿線観光活性化事業	観光戦略部	16,000	8,000	南阿蘇鉄道全線再開を記念し、人気漫画「ONE PIECE」と連携したコラボ列車を令和5年7月22日から運行開始。併せて誘客・周遊促進PR を実施。
7	くまもっと観光地域応援社発展事業	観光戦略部	2,000	1,000	観光客の多様なニーズに対応するため、観光協会等が取り組む、地域資源を最大限に活用し、効果的・能率的な集客を図る「稼げる」観光地づくりを目的とした事業に対する支援を実施。
8	広域的な観光地域づくり支援事業	観光戦略部	30,000	15,000	複数市町村を活動区域とする広域的な観光地域づくり団体の活動を支援。当該団体においては、観光コンテンツの造成や観光地域づくりに資する各種取組を実施。
9	伝統文化等継承対策事業	企画振興部	752	376	伝承芸能の継続による伝統文化の継承及び地域コミュニティの維持を図るため、市町村が助成を行っている伝承芸能団体に対し、県から追加で補助を実施。
10	伝統的工芸品販路開拓支援事業	観光戦略部	10,903	5,452	販路開拓及び担い手確保のため、新商品開発事業、専門家による経営アドバイス事業、インターンシップ事業を実施。新商品開発では5組の工芸家とクリエイターがコラボし作品を制作。経営アドバイス事業には工芸家6事業者が参加。インターンシップ事業では工芸家2事業者が合計2名の後継者候補を決定。
			152,186	76,093	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
県又はスポーツコミッションが開催・支援するスポーツ大会の参加者数及び観戦者数とアニメコンテンツに係るイベント・ツアーの参加者数 0人(R1)⇒5,000人(R6)	観光戦略部	人	0	700	0	1,300	1,505	1,000	1,065	1,000	1,437	1,000		5,000		①目標値を達成	
職場ぐるみで健康づくりに取り組む企業・団体数 1,300団体(R1)⇒1,800団体(R6)	健康福祉部	団体	1,300	100	147	100	179	100	131	100	782	100		500		①目標値を達成	
地域課題解決プロデューサー人材の活用件数 0件(R1) ⇒ 24件(R6)	企画振興部 観光戦略部	件	0	2	2	4	4	6	6	6	6	6		24		①目標値を達成	

推進 6

プロジェクト名(事業期間)	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	林業における省力化並びに生産性向上を図るためには、新たな技術の導入や普及が不可欠であることから、新技術を現場に実装し検証を行うとともに、新技術に触れる機会を創出することを通じて導入・普及を図る。また、森林整備の担い手確保対策の一環として、建設業など異業種との連携を後押しし、多様な林業担い手を確保する。さらに、国内外の需要拡大に向けて、地域住宅生産者グループの育成や輸出促進活動を実施する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	林建・異業種連携推進対策事業	農林水産部	756	378	林業と建設業、造園業、観光業等の異業種との連携を強化し、多様な人材の林業分野へ参入を促進。(連携異業種:17社)
2	林建・異業種連携機械導入支援事業	農林水産部	2,250	1,125	異業種から林業への参入を促進するための林業機械導入を支援。
3	次世代林業・担い手強化支援事業	農林水産部	16,278	8,139	林業担い手不足を補うための省力化・労働強度軽減を図るため、林業現場における新技術導入や林業機械導入に係る支援を実施。
4	くまもとの木材グローバルセールス支援事業	農林水産部	3,198	1,599	付加価値の高い製材品輸出を促進するため、和の空間をコンセプトとしたより品質の高い製材品輸出の可能性調査を実施(展示会出展、ニーズ調査等)。
5	くまもと県産木材D×推進事業	農林水産部	6,282	3,141	県内の木材加工業界において持続的な発展を促すため、研修会の開催や新技術の現地実証を実施。
6	くまもと県産木材SCM構築対策事業	農林水産部	6,420	3,210	品質の確かな県産材の安定供給体制を構築するため、木材情報システムの運用やストックヤード機能の実証、JAS機材等級区分構造材の生産拡大に向けた取組を支援。
7	原木しいたけ生産D×実証事業	農林水産部	6,818	3,409	より高品質で効率的なしいたけ生産技術を確立するため、しいたけ生産現場の温度・湿度等のデータ収集を県内複数個所で実施。
			42,002	21,001	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じた県内からの木材(製材品)輸出額の増加 256,000千円(H30) ⇒ 324,000千円(R6)	農林水産部	千円	256,000	4,000	41,134	5,000	11,046	5,000	-65,474	27,000	149,643	27,000		68,000		①目標値を達成	
事業を通じた林業分野における新技術の普及率(新技術を導入した事業体数／熊本県内の認定事業体数)の増加 0%(R1) ⇒ 32%(R6)	農林水産部	%	0.0	5.0	4.6	5.0	5.7	6.0	6.9	8	8	8		32.0		①目標値を達成	
事業を通じた建設業等異業種との連携会社数の増加 16社(H30) ⇒ 54社(R6)	農林水産部	社／年	16	11	5	11	-1	12	-4	2	2	2		38		①目標値を達成	

推進 7

プロジェクト名(事業期間)	若者の雇用促進による熊本へ人の流れの創出プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	プロフェッショナル人材とのマッチングによる県内企業の魅力向上、県内外の若者及び県内の保護者に向けた県内企業の理解や県内で働くことの魅力等を知る機会の創出に取り組み、進学や就職時に県外へ流出した地方創生人材のUIJターン就職による還流促進や県内就職率の向上を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	建設産業新3K推進プロジェクト	土木部	22,093	11,047	将来の建設産業担い手確保に向けて、主に高校生を対象とした建設産業ガイダンスや現場実習を実施するとともに、小中学生を対象とした魅力発信を展開。高校生の資格取得や、企業の働き方改革・人材育成等に係る取組みを支援。
2	土木技術職魅力発信事業	土木部	1,400	700	建設産業及び建設産業に携わる人の魅力発信を行うため、パンフレットを制作。
3	熊本を支える産業人材育成事業	教育庁	4,391	2,196	専門高校生インターンシップ充実事業では、296人の生徒が県内事業所62社でインターンシップを実施し、県内事業所を知り、就労観や職業観を育成。プロジェクト学習支援事業では、専門高校14校が地域産業界と連携し商品開発やイベント企画を実施し、地域産業の魅力発信を展開。県内企業の理解促進事業では、生徒151人、保護者8人、教職員11人が県内事業所7社を訪問し、企業見学を通して県内事業所の魅力発信を展開。
			27,885	13,942	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
熊本県UIJターン就職支援センターを活用して熊本県内に就職した人数 0人(R1) ⇒ 500人(R6)	商工労働部	人	0	80	72	100	98	120	117	100	158	100		500		①目標値を達成	
地域企業に対する副業・兼業も含めた人材マッチング件数 15件/年(R1) ⇒ 125件/5年(R6)	商工労働部	件	15	15	39	20	89	25	69	30	90	35		125		①目標値を達成	
事業を通じた専門高校生の県内就職率の増加 59.7%(H30) ⇒ 65.6%(R6)	教育庁	%	59.7	0.9	3.2	1.1	3.3	1.3	4.6	1.3	6.4	1.3		5.9		①目標値を達成	

推進 8

プロジェクト名(事業期間)	熊本版 第4次産業革命に向けた先端技術導入を軸とした地場産業成長プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業の先端技術(= IoT、AI、ロボット等を中心とした第4次産業革命技術)導入を支援することで、生産性の向上による産業界の人手不足解消や、収益性の向上による経済的波及効果の創出による地域経済の活性化を実現する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	第4次産業革命推進事業	商工労働部	47,709	23,855	・地域の事業者等への高い経済的効果が期待できる地域経済牽引事業のうち、AI・IoTを活用した次世代水産養殖システムの協創、機械学習手法を用いた検査AI化の開発等計4件に対して、必要な設備投資及び商品開発費を支援。 ・普及啓発のためのセミナーやITベンダーとのマッチング相談会を開催したほか、専門家による現場改善等の伴走支援を実施するなど、各企業の状況に応じて第四次産業革命技術の導入に係る技術的支援を実施。また、財政的な支援として、IoT等導入計画、デジタル機器の整備費等に係る補助を実施。
2	デジタル実装支援にかかるデジタルものづくり中核人材育成事業	商工労働部	7,659	3,830	デジタル実装技術の導入・運用を担う中核技術者(中堅職員、現場リーダー、工場長等)の人材育成を目的に技術講習会や人材育成研修等を実施(人材研修等:41回実施、参加者延べ484名)。
3	県外IT企業・コンテンツ関連企業等ネットワーク構築事業	商工労働部	8,756	4,378	過去3年間の事業実施により本県に呼び込んだ首都圏等のIT企業・コンテンツ関連企業について、業態や立地場所等の傾向等をもとに、本県で未だ足りていない業態や県内各地域毎のニーズ等を分析し、ターゲットとなる企業を精査・リストアップ。個別企業訪問や現地視察受入等を通じて、企業の進出を促す。特に、IT企業等の立地が進んでいない県南地域の支援を重点的に実施。
4	D X 導入モデル企業支援事業	商工労働部	8,865	4,433	DX(IoT、AI、ロボット、5Gなど)の導入等に積極的な企業13社に伴走型の支援を実施し、DX導入モデル企業を複数生み出し水平展開(モデル企業3社の事例紹介を含むDX導入セミナー等を実施)することで、県内企業へのDXの導入および定着を推進。
			72,989	36,495	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 0円(R1) ⇒ 60,000千円(R6)	商工労働部	千円	0	0	88,918	15,000	246,470	15,000	集計中 (R6.6)	15,000	集計中 (R6.6)	15,000		60,000		⑤実績値集計中	
IoT、AI等の先端技術を活用した県内企業の新たな取組件数 0件(R1) ⇒ 87件(R6)	商工労働部	件	0	5	7	16	24	20	26	22	28	24		87		①目標値を達成	
県内企業と県外企業を繋ぐITプラットフォームの登録企業数 0社(R1) ⇒ 140社(R6)	商工労働部	社	0	20	30	40	211	40	94	20	41	20		140		①目標値を達成	

推進 9

プロジェクト名(事業期間)	更なる高みへ！「農業」を軸としたビジネスモデル展開プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	前身事業で開発した商品を更にグレードアップさせて新たな市場開拓につなげたり、これまで支援してきた地域とは別の地域や視点で実施する、新規性や地域経済への波及効果の高い取組みについて支援を行うことで、本県の強みである「農業」を軸として、熊本の創造的復興と地方創生を加速する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来モデル事業（農林水産分野）	農林水産部	98,996	49,498	地域経済牽引事業者による商品開発・改良費及び加工機械設備等を2件支援。
2	異業種連携！6次産業化レベルアップ事業	農林水産部	10,714	5,357	農産加工事業者への加工品ブラッシュアップセミナー等を開催。
3	6次産業化総合支援強化事業	農林水産部	1,400	700	県産農産物を活用した新商品開発への支援やブラッシュアップ・販路開拓に係る個別支援等を実施。
			111,110	55,555	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業実施による支援事業者の新規雇用者数 0人(R1) ⇒ 90人(R6)	農林水産部	人	0	0	0	15	82	20	30	25	集計中 (R6.7)	30		90		⑤実績値集計中	
事業実施による観光拠点への来客数 0人(R1) ⇒ 2,400,000人(R6)	農林水産部	人	0	0	0	300,000	181,213	500,000	210,562	700,000	集計中 (R6.7)	900,000		2,400,000		⑤実績値集計中	
地域経済牽引事業における支援の対象となる設備投資に 対する支援事業者と支援事業者との取引額が多い過半の 域内の事業者の売上額、取引額又は給与支払額の合計 額の増加額 0千円(R1) ⇒ 4,400,000千円(R6)	農林水産部	千円	0	0	0	800,000	1,764,995	1,000,000	4,472,872	1,200,000	集計中 (R6.7)	1,400,000		4,400,000		⑤実績値集計中	

推進 10

プロジェクト名(事業期間)	未来へつなげるくまもと農業の人材確保・育成プロジェクト(令和2年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	本県の強みである農業の持続的、安定的な発展のため、くまもと農業を担う人財の確保・育成を図るとともに、熊本への人の流れを加速化させることで「競争力のあるくまもと農業」の実現を目指す。その実現に向け、円滑な経営継承の支援体制構築や、就農を目指す者のすそ野拡大など、将来にわたって新規就農者(人財)を安定的に確保する取組みを推進する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	くまもと農のひとづくり事業	農林水産部	22,320	11,160	農業者の能力等の向上のため、県内の意欲ある農業者等を対象とした学びの場として、農業研究センター、県立大学等、様々な機関が連携し、農業技術や農福連携等に関する講座を開催(49講座、1,354人受講)。さらに、農業経営者を育成するため、就農5年目以上の農家等を対象に、全国の優良経営農家等を講師として招き、経営理念や販売戦略等を学ぶ講座を開催(受講生12人、講座数10回、個別相談3回)。
2	熊本型新規就農総合支援事業	農林水産部	53,513	26,756	就農希望者が就農する前に行う、農業実践研修を充実させるため、研修受け入れ農家などを対象にした資質向上を図る研修会や、認定農業機関の研修受け入れ体制整備を支援し、研修生57人を指導。
3	くまもと農業の継承支援事業	農林水産部	25,573	12,787	令和3年6月に設立した「くまもと農業経営継承支援センター」を中心に、移譲希望者の掘り起こしやセミナー等の啓発活動・広報活動に加え、マッチングを継承希望者延べ26人に行い、6件のマッチングを締結。
			101,406	50,703	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和2年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を通じた新規就農者数 0人(R1) ⇒ 500人(R6)	農林水産部	人	0	60	72	80	120	110	101	120	106	130		500		②目標値の7割以上を達成	
事業を通じた経営継承マッチング締結件数 0件(R1) ⇒ 75件(R6)	農林水産部	件	0	5	5	10	18	15	11	20	6	25		75		④目標値の達成は5割未満	
県新規就農支援センターの就農相談延べ件数 539件(R1) ⇒ 779件(R6)	農林水産部	件	539	25	348	30	181	100	211	40	29	45		240		②目標値の7割以上を達成	

推進 11

プロジェクト名(事業期間)	球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	県南被災地域の食品加工産業への支援事業	商工労働部	11,407	5,704	被災後から継続した製造施設の衛生環境復旧支援により一部製品の製造が再開し、復旧した商品が県の醤油品評会で上位に入賞。さらに、被災蔵元の新商品開発等に向け、各蔵元から分離・保存した蔵付き微生物の中から優良菌株を選抜し、試験醸造を実施。
2	球磨焼酎リブランディング事業	観光戦略部	38,586	19,293	球磨焼酎を持続可能な地域産品としてブランド再興を図るため、蔵元が実施する商品開発や国内外の酒類コンペティション等への出展、球磨焼酎酒造組合等が取り組む販路拡大等の取組みを支援。また、球磨焼酎の魅力を発信するため、飲食店と連携した販売促進イベントを実施。
3	コロナ禍における観光持続化事業 (観光ビジネスチャレンジ支援事業)	観光戦略部	4,491	2,246	7月豪雨災害被災地を対象に、新たな観光商品・メニュー開発を行う民間事業者等の取組みを支援。
4	地域づくりチャレンジ推進事業 (豪雨からの復興応援プロジェクト推進補助金事業)	企画振興部	36,585	18,293	豪雨災害からの復興に向けて、被災地域における交流人口減少に歯止めをかけるため、自然・食・文化等の地域資源を生かしたPRイベントの開催や地域の魅力発信等の取組み21件を支援。
5	自然公園等施設リニューアル事業 (九州自然歩道利用促進対策事業)	環境生活部	5,060	2,530	人吉球磨地域における令和2年7月豪雨からの創造的復興に向け、九州自然歩道を軸に、くま川鉄道株式会社と連携したウォーキングイベントの開催や、ポータルサイトの構築等を実施。
6	Kumaラボ(観光物産分野) 先行取組運営事業	観光戦略部	8,991	4,495	豪雨被災地域における地域課題解決を図り、創造的復興につなげるため、具体的な事業の企画及び実証を実施。
7	森林サービス産業創出支援事業	農林水産部	3,993	1,997	人吉球磨地域において森林資源・森林空間を活用した「森林サービス産業」を創出するため、「人吉球磨森林サービス産業協議会」の活動を支援。
8	地域資源とのコラボ推進事業	教育庁	1,908	954	地域の防災教育を推進及び専門科目の学びを深めるために、災害復興工事現場の見学、建設DX体験の実施。また、人吉西小学校の生徒に防災教室を実施。さらに、伝統建築の施工技術についての学びを深め、球磨人吉地域の伝統建築物を未来へつなぐ人材の育成を図るために、伝統建築の世界で高度な技術・技能を持った宮大工等から直接指導等を受ける機会を月1回(計12回)実施。
9	令和2年7月豪雨デジタルアーカイブ事業	知事公室	21,315	10,658	令和2年7月豪雨に関連する資料の収集やデジタル化を行い、アーカイブサイトにて10万点を公開。
			132,336	66,168	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
球磨焼酎の出荷量 11,555kℓ(R1) ⇒ 15,022kℓ(R5)	観光戦略部	kℓ	11,555	578	-897	1,156	-913	3,467	-1,228					5,201	-3,038	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
人吉・球磨地域の延べ入込客数 1,115,058人(R2) ⇒ 2,631,058人(R5)	観光戦略部	人	1,115,058	300,000	-94,888	520,000	274,311	696,000	集計中					1,516,000	179,423	⑤実績値集計中	⑤実績値集計中
外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数 0回(R2) ⇒ 27回(R5)	教育庁	回	0	6	8	9	12	12	12					27	32	①目標値を達成	①目標値を達成
アーカイブ化のための資料収集件数 0件(R1) ⇒ 18万件(R5)	知事公室	万件	0	8	5	6	3	4	2					18	10	③目標値の5割以上を達成	③目標値の5割以上を達成

推進 12

プロジェクト名(事業期間)	くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとオープンイノベーション推進事業	商工労働部	21,005	10,503	熊本県の内外にネットワークを有し、技術の動向や有望性を理解する人材をコーディネーターとして配置することで県内中小企業を中心とした連携体の構築や事業化プラン策定、販路開拓を支援。また、県内企業が海外展開、連携を目的として行う事業に対して、専門知識を有するアドバイザーを配置し、伴走支援を実施。
2	くまもとクロス支援事業	商工労働部	22,359	11,180	中小企業等が他企業、大学等と連携して実施する革新的な製品開発を目指した研究開発等について、その事業の初期段階における産学官連携等の模索、連携体による新たな知見・ノウハウの創出等を、くまもとオープンイノベーション推進事業と連携しつつ、資金面から支援を実施。
3	中小企業半導体サプライチェーン強化事業	商工労働部	11,223	5,612	半導体関連企業の技術力と商品力強化に関する技術支援及びこれらによる売上げ向上を目的とした企業間連携強化とニーズ／シーズマッチングに関する支援を実施。①企業間連携を目的とした合同研究会の実施 ②ニーズ及びシーズ収集を目的とした個別協議の実施 ③ニーズ及びシーズの収集 ④ニーズ及びシーズの企業への橋渡しとマッチング支援 ⑤事業化支援の実施
			54,587	27,294	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
プロジェクトにおける共同研究等の件数 0件(R2) ⇒ 9件(R5)	商工労働部	件	0	3	6	3	7	3	7					9	20	①目標値を達成	①目標値を達成
戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等の採 択件数 0件(R2) ⇒ 5件(R5)	商工労働部	件	0	0	0	2	1	3	7					5	8	①目標値を達成	①目標値を達成
プロジェクトにより課題解決につながった件数 0件(R2) ⇒ 150件(R5)	商工労働部	件	0	25	27	50	75	75	75					150	177	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 13

プロジェクト名(事業期間)	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	持続可能な草原維持システム構築推進事業	企画振興部	4,260	2,130	・草原維持活動に積極的に取り組む企業・団体を支援する「阿蘇草原応援企業サポーター認証制度」を創設し、新規13団体を認定。
2	熊本型放牧高度化支援事業	農林水産部	11,278	5,639	阿蘇地域以外からの繁殖牛を受け入れる広域放牧、放牧地・草地の整備(牧柵整備等)を26事業主体(9市町村、1団体)で実施。また、繁殖牛の導入も実施(36頭)。
3	世界農業遺産推進事業 (阿蘇GIAHSを活用した草原の維持・再生加速化推進事業)	農林水産部	7,519	3,759	・阿蘇の草原の維持・再生につながる消費行動を促進することを目的とした「世界農業遺産阿蘇グルメフェア」を開催。約840名の参加があった。 ・地元の大学と連携し、食を通して阿蘇地域世界農業遺産への理解を深めてもらう理解促進活動を実施した。 ・阿蘇地域世界農業遺産認定10周年記念シンポジウムを開催し、地元団体等の草原の維持・再生加速化に対する機運を醸成した
4	世界文化遺産登録推進事業 (阿蘇世界文化遺産登録推進事業)	企画振興部	46,026	23,013	・阿蘇郡市内の中学・高校をモデル的に選定し、世界文化遺産登録に向けた理解醸成等に資する学習を実施。 ・「阿蘇」の世界的価値に関するこれまでの議論を整理して「世界遺産暫定一覧表追加資産に係る提案書」の改訂案を作成。 ・景観保全のため、視点場の設定を行い、その運用について検討を実施。 ・若手研究者による阿蘇に関する多分野の研究を募集し、成果報告会を実施。また、阿蘇世界文化遺産登録に向けた機運醸成のため投稿でシンポジウムを開催。 ・阿蘇の世界文化遺産としての価値を根拠づけるための調査事業を実施。
			69,083	34,542	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
草原再生面積(野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) 422ha(R1) → 982ha(R5)	農林水産部	ha	422	250	33	140	107	200	78					590	218	④目標値の達成は5割未満	④目標値の達成は5割未満
阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 0社(R1) → 30社(R5)	企画振興部	社	0	5	20	10	4	15	13					30	37	②目標値の7割以上を達成	①目標値を達成
草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数 0人(R1) → 500人(R5)	農林水産部	人	0	100	160	200	318	200	364					500	842	①目標値を達成	①目標値を達成
阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 20%(R2) → 50%(R5)	企画振興部	%	20.0	5.0	5.0	15.0	15.0	10.0	15					30.0	35	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 14

プロジェクト名(事業期間)	地域の農林水産業を元気にくまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来モデル事業 (フードバレー地域農産物活用拠点強化事業)	農林水産部	184,048	92,024	令和2年7月豪雨により被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化のため、地域経済牽引事業者において、有機本格焼酎等の製造施設整備及び機械導入(1件)、たもぎ苺の菌床製造・栽培施設整備及び機械導入(1件)を支援。
			184,048	92,024	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額 0円(R2) → 436,000千円(R5)	農林水産部	千円	0	0	0	109,000	473,969	327,000	885,274					436,000	1,359,243	①目標値を達成	①目標値を達成
地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引(契約)件数 0件(R2) → 120件(R5)	農林水産部	件	0	40	57	40	49	40	97					120	203	①目標値を達成	①目標値を達成
地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引(契約)件数 0件(R2) → 7件(R5)	農林水産部	件	0	0	0	3	1	4	5					7	6	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成

推進 15

プロジェクト名(事業期間)	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト(令和3年度～令和5年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	デジタルマーケティング事業	観光戦略部	56,680	28,340	デジタルデータを活用し、旅行者の趣向に合わせた情報発信を実施。
2	スマート観光提案型システム構築事業	観光戦略部	15,129	7,565	スマート観光提案型システム(以下、「システム」という。)を運用するための「システムのブラッシュアップ」及び「システム運用環境の構築」を実施。
3	スマート観光交通体系構築推進事業	観光戦略部	43,000	21,500	熊本型観光MaaSの実現に向けて、阿蘇地域において、既存交通網をつなげる周遊きっぷの造成や観光シャトルバスの実証事業、タクシー手配のWeb化等を実施。
4	地域の活性化を牽引する観光産業創造事業	観光戦略部	10,000	5,000	コテージ新築による総合リゾート化計画事業に対する補助を実施し、地域活性化を支援。
5	新型コロナウイルス感染症からの観光経済、 復旧復興事業 (ワーケーション導入支援事業)	観光戦略部	5,146	2,573	ワーケーショントライアル支援費をインセンティブとして、企業に対してセールスを実施。
6	教育旅行誘致推進事業 (プログラムコーディネーター事業)	観光戦略部	8,492	4,246	教育旅行のプログラムコーディネーターを配置し、教育旅行素材の情報収集やプログラム造成のアドバイス、学校や旅行会社等のニーズと地元のマッチング、団体旅行、教育旅行等関係者への情報提供を実施。
7	域内周遊・滞在促進のための観光地域づくり 事業	観光戦略部	26,912	13,456	満足度や消費額の高い高付加価値化された観光地を面的に形成するために、阿蘇地域において、各観光資源におけるハード・ソフト整備を支援。
8	国立公園満喫プロジェクト推進事業(雲仙天 草国立公園におけるソフト面での受入体制整 備分)	環境生活部	7,998	3,999	雲仙天草国立公園における、国内外からの利用者数の増加及び滞在時間の増加を図るため、昨年度造成したコンテンツを販売するためのプラットフォームを構築、併せてSNS等を活用した情報発信等を実施。
			173,357	86,679	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和3年度～令和5年度増加分		令和5年度 評価	令和3年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコ ンテンツによる本県観光客への上乗せ数 0人(R2) → 276,800人(R5)	観光戦略部	人	0	80,000	43,438	98,400	167,094	98,400	165,460					276,800	375,992	①目標値を達成	①目標値を達成
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を 行った拠点施設における地域在住者雇用者数 0人(R2) → 14人(R5)	観光戦略部	人	0	3	1	5	5	6	6					14	12	①目標値を達成	②目標値の7割以 上を達成
事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を 行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 0本(R2) → 15本(R5)	観光戦略部	本	0	3	7	5	5	7	8					15	20	①目標値を達成	①目標値を達成

推進 16

プロジェクト名(事業期間)	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	商工会商工会議所・商工会連合会補助事業 (08販路開拓支援事業)	商工労働部	10,000	5,000	熊本県商工会連合会及び熊本商工会議所による県内中小企業者の売上げ向上を目的とした販路開拓の取組みを支援。 なお、本取組みにより、両団体を通じて、国内向け販路開拓として15事業者を、海外向け販路開拓として13事業者をそれぞれ支援。
2	首都圏等県産品販路拡大事業	観光戦略部	33,223	16,612	熊本県産品の販路拡大のため、大阪梅田エリアの6商業施設150店舗において熊本のお酒や食材を提供する熊本フェアを実施。さらに、アンテナショップの機能を活用した百貨店等催事への出展(63回)、県産品事業者の県内外催事の新規出展支援、及び県内外の百貨店バイヤーの県産品事業者への紹介、福岡空港売店内の県産品販売箇所の新規契約を実施。
3	くまもと地産地消革新プロジェクト事業	農林水産部	17,580	8,790	地産地消の理解促進を図るため、公式SNSアカウントと連動した情報発信を行ったことにより、HP閲覧数が3,700PV増加。
4	熊本型みどりの食料システム戦略推進事業 (グリーンエボリューション推進事業)	農林水産部	50,893	25,447	有機農業技術確立のため、有機農業栽培技術の現地調査や研修会の開催、病害虫防除技術の実証を支援。また、ゼロカーボン技術確立のため、新技術等の開発や炭素貯留効果の解明に向けた研究の実施、国産濃厚飼料生産のための現地実証、高品質堆肥の生産に係る取組み等を支援。
			111,697	55,848	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和6年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
有機農業に取り組む農業者数 300人(R3) ⇒ 375人(R6)	農林水産部	人	300	25	30	25	42	25						75		①目標値を達成	
県地産地消ホームページの閲覧数 43,000PV(R2) ⇒ 48,200PV(R6)	農林水産部	PV	43,000	4,300	38,000	3,000	3,800	3,000						10,300		①目標値を達成	
伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する 前年度から、経常利益から年率1%以上向上した中小企業者数 0社(R2) ⇒ 48社(R6)	商工労働部	社	0	0	12	16	集計中 (R6.6)	32						48		⑤実績値集計中	

推進 17

プロジェクト名(事業期間)	産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト(令和4年度～令和8年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野(医療、健康、農業等)を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取組みや2023年3月に供用開始した新ターミナルビルのPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業	企画振興部	26,641	13,321	阿蘇くまもと空港での国際航空貨物の恒常輸送を実現するため、通関体制が整った同空港を活用した航空貨物実証輸送を通じて、今後の航空貨物輸送の拡大方策等の調査研究業務を実施。 空港周辺地域の発展に欠かせない交通結節点である空港について更なる利用促進を図るため、熊本地震からの創造的復興の進捗状況を県内外に広くPRを実施。
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	商工労働部	96,466	48,233	交流機会を提供する各種イベントの開催や、社会課題解決に繋がる実証実験8件の支援、ビジネス展開目的にKMN等を活用するための調査・検討の取組みに加え、Pre-UXイノベーションハブを開設後累計2,500名以上が施設を利用し500を超える企業・個人が会員登録するなど、プレーヤー等の集積・交流を推進。
			123,107	61,554	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和8年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和8年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業 件数 1件 ⇒ 26件(R8)	商工労働部	件	1	3	6	4	6	5		6		7		25		①目標値を達成	
UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数 48者 ⇒ 123者(R8)	商工労働部	者	48	10	213	15	80	15		15		20		75		①目標値を達成	
阿蘇くまもと空港の利用者数 104万人 ⇒ 467万人(R8)	企画振興部	万人	104	117	160	117	70	117		6		6		363		③目標値の5割以上を達成	

推進 18

プロジェクト名(事業期間)	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	地域未来投資促進事業（自然共生型（投資））	商工労働部	52,768	26,384	新たな方式による未来型農業の実現や、高付加価値なヘルスケア商品の生産、AIを活用した高品質で安心安全な工場など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業に取り組む県内企業の設備整備等に対して支援を実施。
2	熊本空港周辺地域における産業振興創出事業	商工労働部	9,492	4,746	県内中核企業がテーマを定め、求める技術・スキームを持つ県内外の外部機関と協業することで、事業化に向けたビジネスモデルの構築を行い、研究開発やアイデアの事業化につながる実証実験を実施。
3	県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（輸出ソリューション支援事業）	観光戦略部	6,402	3,201	新たな市場への輸出拡大に向け、輸出先国の規制対応に必要な取り組み（商談会・展示会出展、成分分析、残留農薬検査、先進地研修等）を支援。
			68,662	34,331	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和8年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額 0千円(R3) ⇒ 426,300千円(R6)	商工労働部	千円	0	182,700	集計中 (R6 6)	121,800	集計中 (R6 6)	121,800						426,300		⑤実績値集計中	
オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数 0件(R3) ⇒ 9件(R6)	商工労働部	件	0	3	8	3	7	3						9		①目標値を達成	
規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数 0件(R3) ⇒ 27件(R6)	観光戦略部	件	0	9	7	9	13	9						27		①目標値を達成	

推進 19

プロジェクト名(事業期間)	「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、人材の育成発現プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、さらにはテレワークを中心とする多様な働き方と外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	組織化指導費補助事業（協同組合等DX推進事業）	商工労働部	4,300	2,150	①中小組合等のDX対応を目的とした講習会を実施。(計4回、延べ72名受講)②販路開拓を目的にSNS向けデジタルコンテンツ作成及びSNS操作研修に係る経費の一部を補助(2団体)。
2	中小企業者事業再建・発展支援事業	商工労働部	89,372	44,686	①中小企業者の経営課題の解決のための専門家派遣(専門家派遣893者)及び②中小企業者のデジタル化による生産性向上を目的に、専門家派遣、各種セミナー開催等を実施(専門家派遣114者、EC個別相談会44者、DX・デジタルセミナー266者、団体等講習会268者、支援策セミナー194者)。
3	外国人材活躍促進支援事業	商工労働部	8,850	4,425	外国人材の適正な受入れを支援するため、外国人材受入企業の担当者等を対象にやさしい日本語の活用や異文化理解に関するセミナーを開催(全7回)、83事業者(131名)が参加。また、熊本で働く魅力をPRするための動画をホームページ、SNS等を活用して情報発信した。
4	テレワーク推進体制強化事業	商工労働部	5,764	2,882	テレワーク等の時間や場所にとられない多様な働き方の推進を目的として、県内のコワーキングスペースを活用した体験会や、相談窓口の設置による個人・企業への支援を実施(相談件数16件、コワーキング体験会1回(同日3カ所)、ワーケーション体験会2回)。
5	県立高校魅力化きらめきプラン	教育庁	25,194	12,597	県立高校の魅力化と企業で働く人材育成を後押しするため、SNSの活用やパンフレット制作を実施。また企業等と連携した取組に意欲的な学校を支援。
			133,479	66,740	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和4年度～令和8年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和8年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数 0社(R3) ⇒ 576社(R6)	商工労働部	社	0	192	351	192	集計中 (R7予定)	192						576		⑤実績値集計中	
DX(デジタル化)のために専門家を活用(派遣)した事業者数 0社(R3) ⇒ 1,800社(R6)	商工労働部	社	0	600	755	750	886	750						2,100		①目標値を達成	
県立高校の連携先企業等の数 18者(R3) ⇒ 33者(R6)	教育庁	者	18	5	63	5	10	5						15		①目標値を達成	
外国人雇用事業者数 2,910社(R3) ⇒ 3,120社(R6)	商工労働部	社	2,910	50	279	70	389	90						210		①目標値を達成	

推進 20

プロジェクト名(事業期間)	くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	DX(デジタルトランスフォーメーション)を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインの具体化を進めるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	くまもとDXグランドデザイン推進事業	企画振興部	69,965	34,983	くまもとDXグランドデザインの具体化に向け、産学官からなる「くまもとDX推進コンソーシアム」を設立し、R5年度末時点で県内外から528団体が入会。イベントやセミナーを通じたDXについての理解向上・機運醸成の取組みの他、大学等と連携したDX人材育成プロジェクトや、公募型実証事業の実施によりDX事例を創出。
2	デコポン管理DX推進事業	農林水産部	2,637	1,318	デコポン貯蔵管理のデータを収集し、貯蔵管理の暫定版マニュアルを作成。
3	次世代型果樹園モデル実証事業	農林水産部	13,706	6,853	省力化栽培技術とスマート機器等装備による労働生産性の高い次世代型果樹園モデルを実証するために、1事業主体(カンキツモデル)の取組みを支援。
4	花き管理DX推進事業	農林水産部	5,296	2,648	宿根カスミソウにおける計画出荷及び品質の高位平準化実現のため、県内10箇所の篤農家の生産ほ場にセンシング機器を設置し、栽培管理データの収集及び分析を実施。
5	「ゆうべに」ブランド推進・出荷体制構築事業	農林水産部	1,532	766	いちご「ゆうべに」の摘花作業及び集出荷作業の効率化のため、摘花作業ポイント解説動画の作成と荷受予約アプリ及び自動選果機の現地実証を実施。
			93,135	46,568	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度～令和10年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数 0件 ⇒ 36件(R6)	企画振興部	件	0	5	8	10	10	15						30		①目標値を達成	
コンソーシアム参加団体数 0団体 ⇒ 100団体(R6)	企画振興部	団体	0	10	371	40	157	50						100		①目標値を達成	
イチゴ「ゆうべに」の作付面積 84.4ha ⇒ 100ha(R6)	農林水産部	ha	84.4	5.6	6.1	5.0	2.2	5.0						15.6		④目標値の達成は 5割未満	
実証経営体におけるデコポンの出荷率 70% ⇒ 80%(R6)	農林水産部	%	70	2	10	3	10	5						10		①目標値を達成	

推進 21

プロジェクト名(事業期間)	国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト(令和4年度～令和6年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じた新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	国際バドミントン大会誘致促進事業	観光戦略部	100,000	50,000	熊本県・熊本市が連携してバドミントン国際大会(Super500)を熊本県立総合体育館(熊本市)で開催し、交流・関係人口の拡大や次世代アスリートの育成につなげる取り組みを実施。
2	新たな旅のスタイル促進事業(コーディネート)	観光戦略部	16,617	8,308	「新たな旅のスタイル」や「新たな働き方のスタイル」であるワーケーションを推進するため、県内関係者のネットワーク化を図るとともに、地域にアドバイザーを派遣して、コーディネーターの養成及びワーケーション素材の磨き上げを実施。
			116,617	58,308	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度～令和10年度増加分		令和5年度 評価	令和4年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
国際大会の観客数 0人(R3)⇒28,000人(R6)	観光戦略部	人	0	500	1,534	19,500	20,958	8,000						28,000		①目標値を達成	
熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数 0者(R3)⇒50者(R6)	観光戦略部	者	0	10	23	20	21	20						50		①目標値を達成	
滞在・交流プログラム利用者数 0人(R3)⇒200人(R6)	観光戦略部	人	0	60	110	70	55	70						200		②目標値の7割以上を達成	

推進 22

プロジェクト名(事業期間)	スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業(令和2年度～令和6年度)
プロジェクト概要	大分県との連携により、将来性のあるスポーツイベント(アーバンスポーツ、国際サイクルレース)の開催を契機とした人の流れを呼び込む取り組みを進め、国内外からの観光客を中心とした交流人口・関係人口の拡大、ひいては地域経済の活性化につなげる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	ツール・ド・九州受入環境整備事業	観光戦略部	22,000	11,000	ツール・ド・九州2023熊本阿蘇ステージを開催し、県内外からの誘客や県内サイクルツーリズム関係情報発信を行うことにより、サイクルスポーツの振興やサイクルツーリズムの推進を図った。
2	アーバンスポーツ展開実証事業	観光戦略部	38,999	19,500	アーバンスポーツモニターイベント等を開催し、アーバンスポーツによる県内への誘客を実施。
			60,999	30,500	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度～令和10年度増加分		令和5年度 評価	令和2年度～令和6年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
スポーツ合宿等受入人数 63,172人⇒94,786人(R6)	観光戦略部	人	63,172	6,000	26,766	7,000	28,003	7,200	47,821	7,100	集計中 (R6.6)	7,100		34,400		⑤実績値集計中	
カルチャーツーリズム等参加者数 646人⇒500人(R6)	観光戦略部	人	646	50	706	50	857	50	998	50	集計中 (R6.6)	50		250		⑤実績値集計中	
パラスポーツイベント参加者数 0人⇒2,300人(R6)	観光戦略部	人	0	2,100	0	50	5,344	50	2,100	50	集計中 (R6.6)	50		2,300		⑤実績値集計中	
イベント参加者数 300人⇒50,000人(R6)	観光戦略部	人	300	-	-	-	-	6,700	14,324	39,000	集計中 (R6.6)	4,000		49,700		⑤実績値集計中	

推進 23

プロジェクト名(事業期間)	熊本型フードバリューチェーン構築による稼げる農林水産業の実現プロジェクト(令和5年度～令和7年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うくもと」の実現と地域活性化を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	フードバリューチェーン構築推進事業	農林水産部	2,334	1,167	生産・流通現場でのフードバリューチェーンの最適化を目的とした生産性向上や効率化の取組み4件を支援した。
2	県産あさり資源回復事業	農林水産部	12,450	6,225	県産あさりの資源回復のため、あさり保護のための被覆網設置や食害生物であるチヌ駆除を行い、県産あさりの安定供給に繋がる取組みを実施した。
3	県産あさり流通推進事業	農林水産部	34,437	17,219	「熊本モデル」による県産あさりの信頼回復及び流通拡大を図るため、①トレーサビリティシステムの整備・運用②流通に係る監視体制の整備や資材導入の支援、③「熊本モデル」PRのためのキャンペーン等を実施した。
4	球磨川流域水産資源回復事業	農林水産部	6,040	3,020	令和2年7月豪雨で減少した球磨川河口域のあさり資源回復につなげるため、4漁協があさり母貝団地を設置・管理し、あさりの安定供給に繋がる取組を実施した。
5	クマモト・オイスター養殖業事業化促進事業	農林水産部	21,265	10,633	クマモト・オイスター養殖業の事業化(自走化)を促進するため、①種苗生産コスト削減に向けた技術開発試験の実施、②安心・安全な流通体制確保に向けた衛生検査の実施、③販路拡大、認知度向上に向けた生産者による首都圏(東京及び大阪)での商談会への出展、④海外輸出を見据えた消費期限延長試験を実施した。
6	くまもとの魚海外市場ターゲット拡大事業	農林水産部	2,666	1,333	更なる輸出拡大に向け、水産物輸出事業者で組織する「熊本県水産物輸出促進協議会」への支援を実施。
7	ブリ人工種苗量産技術開発試験	農林水産部	5,307	2,654	本県水産研究センターにおいて、県内養殖業者からブリ親魚を調達して搬入し、養成して催熟した後、採卵した。
8	ブリ親魚養成・採卵技術開発試験	農林水産部	3,095	1,548	ブリ人工種苗量産に係る技術を国研究機関から導入し、本県水産研究センターにおいて、人工種苗を生産した。
9	水産基盤整備交付金事業	農林水産部	10,596	5,298	あさり漁場(7市町)において、あさりの安定供給体制の構築のため、保護柵設置や食害生物等の駆除を実施した。
10	海外輸出拡大対策事業	観光戦略部	3,446	1,723	マーケットインの取組みで県産品のブランド力向上を図るため、県産品に興味を示す海外小売店のバイヤーを招へいし、産地視察や個別商談等を通して、現地ニーズにあった商品の発掘・商品の磨き上げを行う支援を実施。
11	県産農林水産物等輸出推進総合支援事業	観光戦略部	9,899	4,949	「輸出支援スペシャリスト」が事業者に伴走し、輸出のステージに応じたアドバイスやサポートを実施。また、輸出初心者向け「輸出ガイドブック」を作成。
12	海外輸出拡大対策事業	観光戦略部	9,930	4,965	マーケットインの視点から海外の飲食店向け輸出拡大を図るため、香港・シンガポール・タイの飲食店料理人等を招へいし、現地視察や商談会を経てメニュー考案と飲食店でのフェアを実施。
			121,466	60,733	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度増加分		令和5年度～令和7年度増加分		令和5年度 評価	令和5年度～令和7年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
事業の実施により、フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合 0% ⇒ 80.1%(R7)	農林水産部	%	0	26.7	集計中 (R6.7)	26.7		26.7						80.1		⑤実績値集計中	
熊本県産あさり販売協力店舗数 855店舗 ⇒ 2,300店舗(R7)	農林水産部	店舗	855	445	856	600		400						1,445		①目標値を達成	
輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数 0件 ⇒ 21件(R7)	観光戦略部	件	0	5	13	8		8						21		①目標値を達成	
ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設 0件 ⇒ 2件(R7)	農林水産部	件	0	0	0	1		1						2		①目標値を達成	

推進 24

プロジェクト名(事業期間)	地域資源のリブランディングとインバウンド強化による地域活性化プロジェクト(令和5年度～令和7年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	コロナや災害といった外的要因により、著しく活力が低下している地域資源のリブランディングに取り組むことで、本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDXの推進に、県と観光事業者、地元関係者等がー丸となって取り組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、水際対策の緩和によるインバウンドの再開に加え、半導体受託生産最大手であるTSMC(台湾)の熊本進出を受け、本県における最重要市場となった台湾との更なる交流促進と、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	水俣・芦北地域重点施策課題解決推進事業	企画振興部	12,600	6,300	・さかなクンとタイアップし、水俣・芦北知育の海産物(牡蠣、太刀魚)をPRLした動画を作成し、SNS(YouTube等)で配信 ・さかなクンとタイアップし、水俣・芦北地域のスペシャル井作成イベントの実施し、その様子を動画にしてSNS(YouTube等)で配信
2	スマートツーリズム基盤創生・活用事業	観光戦略部	10,613	5,307	観光施策に関する成果を事業横断・年度横断で蓄積し、「見える化」するための観光データ基盤(DMP)を構築。
3	教育旅行誘致推進事業	観光戦略部	996	498	教育旅行のSDGs素材の商品化及び販売促進を図るため、SDGs素材を活用した教育旅行プログラムの紹介動画(球磨村SDGsプログラム、人吉球磨防災学習プログラム、平和学習プログラム)を制作した。
4	インバウンド地域戦略策定事業	観光戦略部	17,949	8,975	県内のインバウンドに関わる観光事業者等に対する包括的な調査を実施するとともに、インバウンドアナリストなどによる専門的知見に基づく分析を経ながら、インバウンド市場及び県内地域双方のニーズに沿った本県独自の「ポストコロナインバウンド地域戦略」を策定した。
5	台湾インバウンド誘客強化事業	観光戦略部	22,974	11,487	本県の最重点市場であり、TSMCの熊本進出を契機とした台湾インバウンドの誘客効果を最大化するため、台湾現地に観光レップ(現地代理人)を設置したほか、台湾からの教育旅行の円滑な受入れのための相談窓口を設置した。
			65,132	32,566	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度増加分		令和5年度～令和7年度増加分		令和5年度 評価	令和5年度～令和7年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
熊本県の外国人延べ宿泊者数 35,860人 ⇒ 335,860人(R7)	観光戦略部	人	35,860	100,000	964,670	100,000		100,000						300,000		①目標値を達成	
熊本県の教育旅行宿泊者数 0人 ⇒ 23,500人(R7)	観光戦略部	人	0	3,500	集計中 (R6.6)	10,000		10,000						23,500		⑤実績値集計中	
観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数 0事業 ⇒ 60事業(R7)	観光戦略部	事業	0	10	5	20		30						60		③目標値の5割以上を達成	
不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数 0回 ⇒ 180,000回(R7)	企画振興部	回	0	60,000	79,595	60,000		60,000						180,000		①目標値を達成	

推進 25

プロジェクト名(事業期間)	シリコンアイランド九州の復活へ！ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト(令和5年度～令和7年度)【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	国際教育支援事業	総務部	43,000	21,500	国際的な水準の教育を提供する私立教育機関に対し、外国籍児童・生徒の受入体制整備に係る追加的経費の一部の補助を実施。
2	菊池南部地域交通渋滞対策事業	企画振興部	29,611	14,806	菊池南部地域の渋滞緩和を図るため、県、セミコンテクノパーク企業、関係市町(合志市、菊陽町)、バス事業者が連携・協力し、合志市・菊陽町エリアにおける通勤バス(路線バス)の実証運行を第1弾(9/11～15、無償)・光の森エリア(西花立)～セミコンテクノパーク、第2弾(1/9～2/22、有償)・北バイパス(新須屋駅)～セミコンテクノパークにおいて実施。また、同地域の渋滞緩和に資する公共交通機関の利用促進に取り組む団体が実施する事業に対して補助を実施。
3	熊本県半導体人材育成会議等活動事業	商工労働部	6,497	3,249	若年層(小中学生)への半導体理解促進を進めるため、若年層(小中学生)に向けた半導体認知度向上動画の作成と小中学校(小学校3校、中学校3校)への出前授業を実施。
4	熊本県総合エネルギー計画推進事業	商工労働部	6,360	3,180	既設の事業用低圧太陽光発電事業者及びアグリゲーター候補者へのアンケート調査、再エネ電力使用希望企業へのヒアリング調査を実施。県内施設の維持管理状況等の現状を把握するとともに、アグリゲーター候補者や再エネ電力使用希望企業の関心の高さが伺えた一方、オンライン化未対応の施設が多く集約が困難であることや、卒FITまでに残り7年間程度あること等の課題が判明したため、令和6年度は調査対象を卒FIT電源にまで広げた上で引き続き調査、課題整理等を行う。
5	県立高校半導体関連人材育成事業	教育庁	33,125	16,562	本事業においては、学校・企業見学、出前授業、エンジニア派遣の各種サポート事業を実施し、4,770人(延べ人数)の生徒が事業に参加。また、県立高校生向けに半導体ガイドブックを作成し、本県の半導体関連産業を中心とする産業全体に対する生徒の理解促進や魅力発信の展開。
			118,593	59,297	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度増加分		令和5年度～令和7年度増加分		令和5年度 評価	令和5年度～令和7年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数 0人 ⇒ 14,100(R7)	教育庁	人	0	4,700	4,770	4,700		4,700						14,100		①目標値を達成	
インターナショナルスクールの児童生徒数 70人 ⇒ 115人(R7)	総務部	人	70	20	14	15		10						45		②目標値の7割以上を達成	
セミコンテクノパーク周辺企業の公共交通通勤者数(1日あたり／年平均) 450人 ⇒ 1,250人(R7)	企画振興部	人	450	100	651	200		500						800		①目標値を達成	
当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数 0者 ⇒ 1者(R7)	商工労働部	者	0	0	0	0		1						1		①目標値を達成	

推進 26

プロジェクト名(事業期間)	プロフェッショナル人材戦略拠点事業(令和5年度～令和9年度)
プロジェクト概要	「プロフェッショナル人材戦略拠点」を県内に設置し、地域企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、副業・兼業を含めた企業が必要とするプロフェッショナル人材の獲得を支援する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	商工労働部	53,348	30,874	プロフェッショナル人材獲得を支援するため、313件の県内企業を訪問し、様々な経営課題に対するアドバイスや情報提供を行うことにより、副業人材を含む90件のプロフェッショナル人材の採用が決定。
			53,348	30,874	

KPI	指標担当部局	単位	事業 開始前	令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		令和9年度増加分		令和5年度～令和9年度増加分		令和5年度 評価	令和5年度～令和9年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
地域企業に対する人材マッチング件数(副業・兼業を含む) 60件 ⇒ 260件(R9)	商工労働部	件	60	30	90	35		40		45		50		200		①目標値を達成	
地域企業に対するデジタル人材マッチング件数(KPI①の内数) 2件 ⇒ 50件(R9)	商工労働部	件	2	5	7	7		9		12		15		48		①目標値を達成	
金融機関の紹介による地域企業に対する人材マッチング 件数(KPI①の内数) 4件 ⇒ 52件(R6)	商工労働部	件	4	5	7	7		9		12		15		48		①目標値を達成	

推進 繰越分1

プロジェクト名(事業期間)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムによる交流人口拡大プロジェクト（平成30年度～令和4年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムを実現し、熊本地震の記憶や経験、教訓を国内外に発信することで防災・減災の取組に貢献する。さらに回廊ルートを新たな観光資源と捉え、県内の観光地とつなぎ巡ることで、交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業 熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業	観光戦略部	180,000	90,000	熊本地震震災ミュージアム中核拠点展示・学習施設内(体験・展示施設)で展示する映像等のコンテンツを専門家の監修のもと制作。
			180,000	90,000	

推進 繰越分2

プロジェクト名(事業期間)	成長産業化に向けたくまもと型林業イノベーションプロジェクト（令和2年度～令和6年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	林業における省力化並びに生産性向上を図るためには、新たな技術の導入や普及が不可欠であることから、新技術を現場に実装し検証を行うとともに、新技術に触れる機会を創出することを通じて導入・普及を図る。また、森林整備の担い手確保対策の一環として、建設業など異業種との連携を後押しし、多様な林業担い手を確保する。さらに、国内外の需要拡大に向けて、地域住宅生産者グループの育成や輸出促進活動を実施する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	次世代林業・担い手強化支援事業	農林水産部	10,470	5,235	木材の生産・流通における低コスト化や省力化を図るための新技術等導入に対する補助(1件)。
			10,470	5,235	

推進 繰越分3

プロジェクト名(事業期間)	SDGsを原動力に！草原の維持・再生加速化による阿蘇地域の持続的発展プロジェクト（令和3年度～令和5年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	これまで進めてきた草原の保全・維持の取組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	
1	阿蘇草原再生事業	企画振興部	6,930	3,465	・座学及び実技の研修会を開催し、5団体の野焼き後継者を育成。 ・放棄地において灌木の処理などを行い野焼きの再開を支援し約49haの野焼きを再開。
2	持続可能な草原維持システム構築推進事業	企画振興部	5,940	2,970	・野焼きや輪地切りの作業省力化及び延焼防止のため2牧野で恒久防火帯を整備。
			12,870	6,435	

推進 繰越分4

プロジェクト名(事業期間)	くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト（令和3年度～令和5年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 （千円）	うち交付金 （千円）	
1	スマート観光提案型システム構築事業	観光戦略部	15,126	7,563	スマート観光提案型システム構築のため、システム機能設計の作成及びシステム基礎部分を開発。
			15,126	7,563	

推進 繰越分5

プロジェクト名(事業期間)	「グリーンエボリューション(緑の進化)」への挑戦！環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト（令和4年度～令和6年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 （千円）	うち交付金 （千円）	
1	くまもと地産地消革新プロジェクト事業	農林水産部	330	165	地産地消公式SNS「KUMA RICH」ロゴマークの商標登録を実施した。
			330	165	

推進 繰越分6

プロジェクト名(事業期間)	世界のマーケットへチャレンジ！新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト（令和4年度～令和6年度）【企業版ふるさと納税活用】
プロジェクト概要	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させる。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 （千円）	うち交付金 （千円）	
1	地域未来投資促進事業	商工労働部	33,068	16,534	新たな方式による未来型農業の実現や、高付加価値なヘルスケア商品の生産、AIを活用した高品質で安心安全な工場など、地域の事業者等への経済波及効果が期待できる地域経済牽引事業に取り組む県内企業の設備整備等に対して支援を実施。
			33,068	16,534	

単県 1

事業名	くまもと県産農産物ネットワーク構築事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	県内直売所間における広域ネットワーク構築及び県産農産物等の商品交流ルートの運用を支援

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	くまもと県産農産物ネットワーク構築事業	農林水産部	1,700	250	県内20直売所で構成される熊本県物産館等連絡協議会において、品揃えの充実に向けて、地域の農産物や加工品等977品目の商品交流を実施。

単県 2

事業名	企業の農業参入トータルサポート事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	企業の農業参入を多様な担い手の確保及び地域活性化の起爆剤として位置づけ、地域との調和を図りながら、農業に参入する企業に対し総合的な支援を行うことにより、更なる企業の農業参入の促進と定着化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	企業の農業参入トータルサポート事業	農林水産部	41,056	350	補助件数6件、新規参入件数3件、総額11.858千円の補助を実施した。

単県 3

事業名	プロススポーツによる地域活性化事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	アフターコロナを見据え、熊本ヴォルターズによるホーム試合を活用し、落ち込んだ観客動員数の回復、アウェー客への県内観光PRを実施し、県内プロスポーツチームによる地域活性化、本県への誘客促進を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	プロススポーツによる地域活性化事業	観光戦略部	49,596	10,000	熊本ヴォルターズのホーム試合への無料招待等を行い、新たなファン獲得に対する支援を実施(1シーズン中に22回、延べ11,053人)。

単県 4

事業名	こども図書館事業 【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	建築家の安藤忠雄氏から寄贈いただいた「こども図書館」を県民参加型の運営にし、県民に愛される「こども図書館」を目指す。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	こども図書館事業	教育委員会	196,489	16,400	図書寄贈の取組みを県下全域で実施し、合計24,000冊を超える寄贈をいただいた。また、オープンに先駆けて安藤忠雄氏の講演会を実施するとともに、ロゴデザインの作成・発表を行い、県民の機運醸成を図った。

単県 5

事業名	動物愛護推進事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	「命を大切にし、やさしさあふれる人と動物が共生するくまもと」の実現を目指し、動物愛護に関する施策の推進を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	動物愛護推進事業	健康福祉部	356,235	200	動物愛護の拠点となる新たな動物愛護センターを整備。

単県 6

事業名	放課後児童クラブ利用サポート事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	放課後児童クラブに通所する低所得世帯の利用料を支援し、経済的理由から放課後児童クラブの利用を控えることのないようにすることで、児童の健全な育成を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	放課後児童クラブ利用サポート事業	健康福祉部	6,271	300	放課後児童クラブを利用する就学援助世帯の利用料補助を実施した10市町に対して、支援を実施。

単県 7

事業名	放課後児童クラブ施設整備事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	子どもの健全な育成及び保護者の仕事と育児の両立を支援するため、放課後児童クラブの整備に要する経費を助成する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	放課後児童クラブ施設整備事業	健康福祉部	35,879	500	県内7市町11クラブ分の放課後児童クラブの整備を支援。

単県 8

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	ひとり親家庭の父又は母及び児童の健康を保持し生活の安定を図るため、ひとり親家庭等の医療費助成事業を行う市町村に対して補助金を交付する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	ひとり親家庭等医療費助成事業	健康福祉部	97,725	800	県内44市町村(熊本市を除く)に対し、補助金を交付(医療費の助成延べ件数:99,605件)。

単県 9

事業名	子ども食堂等応援事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	子ども食堂の安心安全な活動の実施や取組拡大を図るため、コーディネーターを配置し、子ども食堂の自律的な運営体制を支援する。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	子ども食堂等応援事業	健康福祉部	5,266	800	子ども食堂の開設を支援するためのアドバイザー派遣、運営者向け講習会の開催、相談対応、支援者とのマッチングなどを実施。

単県 10

事業名	地域療育総合推進事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	在宅の障がい児及びその疑いがある児童並びにその家族等が、身近な地域で相談等が受けられる療育支援体制を充実を図るため、地域支援を担う療育相談員の配置等を行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	地域療育総合推進事業	健康福祉部	33,848	800	県内10カ所の障害福祉圏域の児童発達支援センターに療育相談員を各1名配置し、相談支援、地域支援等を行った。 (事業所への助言:235回、保育所等への助言:865回、事業所等への研修の実施:227回 等)

単県 11

事業名	交通安全特別啓発事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	飲酒運転根絶や自転車安全利用に向けた交通安全意識の高揚のための広報啓発等

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	交通安全特別啓発事業	環境生活部	5,874	200	○ 自転車安全利用の推進 ポスター作成・配布(1, 500枚)、ステッカー作成・配布(1, 000枚)、街頭ビジョンでの放送(7ヶ月合計74, 130回放映) インターネットでの広報(インストリーム広告:8月～2月の間で1, 036, 025回 、 カラーセル広告:8月～2月の間で639, 145回) 情報誌やフリーペーパー等での広報 ○ 飲酒運転根絶に向けた広報啓発活動の推進 ラジオCM(30回)、ラジオ番組内での取組紹介(CM2回、出演1回)、コンビニ店舗内での放送広告(店舗内放送:1日96回×14日、レジ前広告:1日120回×14日) 新聞広告、タクシーでの広報(飲酒運転根絶を呼びかけるステッカーを400枚作成し、タクシーで掲示)

単県 12

事業名	産業教育設備整備事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	県立高等学校の産業教育における教育効果を確保するため、新技術に対応した産業教育に必要な実験実習設備の更新や新規購入等を行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	産業教育設備整備事業	教育庁	24,996	1,000	ジャイロテッターや選果機などの収穫機及びパワージョベル(農業系高校)、丸のこ等の実習機材(工業系高校)、調理台(家庭科)、消毒保管庫(翔陽高校)、プレハブ冷蔵庫(鹿本農業)など実習設備購入を実施。

単県 13

事業名	既設太陽光発電施設の長期安定電源化促進モデル事業【企業版ふるさと納税活用】
事業概要	FIT期間終了後に廃止の可能性がある既設の事業用低圧太陽光発電施設について、アグリゲーター(とりまとめ者)の管理下で長期安定電源化を図り、再エネ電力を求める企業等に提供するために必要な仕組みづくりに向けた調査及び検討を行う。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	既設太陽光発電施設の長期安定電源化促進モデル事業	商工労働部	6,360	1,000	既設の事業用低圧太陽光発電事業者及びアグリゲーター候補者へのアンケート調査、再エネ電力使用希望企業へのヒアリング調査を実施。県内施設の維持管理状況等の現状を把握するとともに、アグリゲーター候補者や再エネ電力使用希望企業の関心の高さが伺えた一方、オンライン化未対応の施設が多く集約が困難であることや、卒FITまでに残り7年間程度あること等の課題が判明したため、令和6年度は調査対象を卒FIT電源にまで広げた上で引き続き調査、課題整理等を行う。

単県 14

事業名	2050くまもとゼロカーボン推進事業 【企業版ふるさと納税活用】※人材派遣型
事業概要	事業活動におけるCO2削減に向けて、事業者の脱炭素化の取組みを後押しするとともに、県が率先して脱炭素化に取り組む。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	2050くまもとゼロカーボン推進事業	環境生活部	7,595	69	・CO2排出設備や更新時期等を「見える化」する「事業活動温暖化対策計画書制度」を活用し、省エネ設備への更新、燃料転換等を促進。 ・PPA(初期投資ゼロモデル)を活用した県有施設への再エネ導入、化石燃料を使用する空調設備の電化及び公用車へのEV導入等を推進。

単県 15

事業名	環境立県推進課職員給 【企業版ふるさと納税活用】※人材派遣型
事業概要	企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材を受け入れることにより、地方創生のより一層の充実・強化を図る。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	環境立県推進課職員給 ※企業版ふるさと納税（人材派遣型）	環境生活部	9,004	9,004	企業版ふるさと納税を活用して民間企業から派遣された職員の給与。

単県 16

事業名	流通アグリビジネス課職員給 【企業版ふるさと納税活用】※人材派遣型
事業概要	令和5年10月に株式会社デンソーと「食」・「農」分野に関する包括連携協定を締結。フードバリューチェーンの最適化に向けた生産・流通分野での効率化及び付加価値向上の取組みで連携を進めるため、専門的知識・ノウハウを有する人材(職員)を県に派遣。生産・流通現場における“カイゼン”指導・研修を実施。

NO.	構成事業名	担当部局	令和5年度 実績額		令和5年度 事業実績
			総事業費 (千円)	うち企業版 ふるさと納 税	
1	流通アグリビジネス課職員給 ※企業版ふるさと納税（人材派遣型）	農林水産部	6,772	6,772	農産物集出荷場や加工施設、直売所など約15件の現場において“カイゼン”指導を実施。作業効率化や付加価値向上の取組みを支援した。

デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生拠点整備タイプ）
（平成30年度～令和5年度分）

拠点 1

交付対象事業(実施年度)	平成30年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本地震の震災遺構等を活用した回廊型フィールドミュージアムにおける中核拠点整備プロジェクト			
事業概要	地震断層等の震災遺構を巡る回廊型フィールドミュージアムの中核拠点に位置付けている東海大学阿蘇キャンパスを効果的に見学できるよう、1号館建物を保存、整備することで交流人口の拡大を図るとともに、地域産業の振興や地域の活性化を図る。			
実施期間	平成31年3月～令和2年3月			
事業実績	熊本地震震災ミュージアムの中核拠点である旧東海大学阿蘇キャンパス内にある震災遺構を効果的に見学できるようにするため、旧1号館の保存整備及び遺構見学通路の整備を令和2年3月に完了。令和2年8月1日から一般公開を開始。			
担当部局	観光戦略部	実績額	総事業費(千円)	243.723
			うち交付金	121.862

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和元年度増加分		令和2年度増加分		令和3年度増加分		令和4年度増加分		令和5年度増加分		合計		令和5年度 評価	令和元年度～令和5年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1号館建物訪問者数 0人(H30)→195,360人(R5)	観光戦略部	人	0	0	0	24,000	15,269	152,000	30,012	17,600	72,672	1,760	22,599	195,360	140,552	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成
1号館建物を訪れるツアー参加者数 0人(H30)→19,536人(R5)	観光戦略部	人	0	0	0	2,400	4,270	15,200	7,083	1,760	4,628	176	8,954	19,536	24,935	①目標値を達成	①目標値を達成
1号館建物訪問による観光消費額 0百万円(H30)→1,914.5百万円(R5)	観光戦略部	百万円	0	0	0	235.20	157.65	1,489.60	209.56	172.48	536.15	17.24	688.30	1,914.52	1,591.66	①目標値を達成	②目標値の7割以上を達成

拠点 2

交付対象事業(実施年度)	令和3年度補正地方創生拠点整備交付金			
交付対象事業(プロジェクト名)	熊本地震の経験や教訓等を未来に語り継ぐ熊本地震震災ミュージアム体験・展示施設整備プロジェクト【企業版ふるさと納税活用】			
事業概要	熊本地震の経験や教訓等と熊本が誇る自然の豊かさや熊本地震から復旧・復興を遂げる姿を発信する熊本地震震災ミュージアム中核拠点「体験・展示施設」を整備することで、本県の交流・関係人口の拡大、ひいては移住定住の促進や地域産業の回復による地域活性化を通じた熊本地震からの創造的復興の推進を図り、本県の地方創生を深化させる。			
実施期間	令和4年3月～令和5年3月			
事業実績	体験・展示施設の建築工事をはじめとする整備を実施した。 (開館予定:令和5年(2023年)7月)			
担当部局	観光戦略部	実績額	総事業費(千円)	916,796
			うち交付金	458,398

KPI	指標担当部局	単位	事業開始前	令和4年度増加分		令和5年度増加分		令和6年度増加分		令和7年度増加分		令和8年度増加分		合計		令和5年度 評価	令和4年度～令和8年度 合計評価
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
体験・展示施設来場者数 現時点 0人(R3)→102,000人(R8)	観光戦略部	人	0	0	0	67,000	44,573	33,000		1,000		1,000		102,000		③目標値の5割以上を達成	
中核拠点(旧東海大学阿蘇キャンパス)を教育旅行を目的で訪れる小中学校及び高校の学校数 現時点 50校(R3)→180校(R8)	観光戦略部	校	50	0	0	110	14	50		10		10		180		④目標値の達成は5割未満	
体験・展示施設来場による観光消費額 現時点 0円(R3)→1,562百万円(R8)	観光戦略部	百万円	0	0	0	1,025	504	505		16		16		1,562		④目標値の達成は5割未満	